

長谷川ともかず

市政レポート 2024年1月 vol.2

かわさきほっとらいん



所属委員会：文教委員会・大都市税財政制度調査特別委員会



この度の令和6年能登半島地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

2024年は川崎市制100周年を迎える、まさに歴史と未来が交差する特別な年です。川崎市のこれまでの歩みと輝かしい未来への展望を皆様と共有し、本年も地域社会の更なる発展に全力を尽くしてまいります。

昨年の11月に新本庁舎が開庁し、新しい議場となって初めてとなる市議会（令和5年第5回定



川崎と共に生きる

例会）が、11月27日から12月20日まで開催されました。私は12月15日の一般質問において、市制100周年の象徴的事業である「全国都市緑化かわさきフェア」のコア会場となる富士見公園の再編整備事業をはじめ、地元川崎区の話題を中心に取り上げましたので、その概要を報告させていただきます。

長谷川ともかずの 質問

第2庁舎跡地広場について（総務企画局）

Q

旧議場のあった第2庁舎の跡地は、本庁舎敷地と一体的な広場空間として整備されます。新本庁舎は、発災時には災害対策活動の中核拠点を担うことから、本広場について防災・危機管理の面から、発災時の災害対策を行う場所としての役割や、どのような設備・機能が備わるのか問う。



A

災害発生時には緊急車両などの乗り入れを可能とし、災害時でも途絶しにくい電源の供給や、耐震管を使用して引き込んだ手洗い場を設置するなど、多目的防災スペースとしても活用できる広場として整備する。

富士見公園再編整備の進捗等について（建設緑政局）

Q

再編整備が進む富士見公園は、4月1日に市内の公園で唯一の相撲場と、12面のテニスコートが整備される北側エリアが先行してオープンします。緑化フェア開催に向けたプレオープンイベントとしても、毎春開催される「川崎市こども相撲大会」に合わせた「こけら落としセレモニー」について、見解と対応を問う。

A

こども相撲大会などに合わせて主催団体が行うセレモニーについて、開催希望があった場合には、事業者と適切に対応していく。

また、緑化フェアの開催式典については、初日となる10月19日にオープニングセレモニーを実施し、カルツカワサキにおいて総合開会式を予定している。

「全国都市緑化かわさきフェア」が、今秋と来春に富士見公園・等々力緑地・生田緑地で開催されます。

秋

2024年（令和6年）
10月19日（土）—11月17日（日）

春

2025年（令和7年）
3月22日（土）—4月13日（日）

※全国都市緑化フェアは、1983（昭和58）年から毎年、全国各地で開催されている「花と緑の祭典」です。

川崎区内の歩道橋について(建設緑政局)

大島4丁目歩道橋・大島上町歩道橋・渡田六ツ角歩道橋

Q1

これから大規模補修工事が実施される「大島4丁目歩道橋」について、高齢者等にもやさしい、誰もが利用しやすい歩道橋になるような対策と、交差点部の安全対策や交通の円滑化などについて問う。

A

高齢者等の利便性と安全性の向上を目的として、現在の一段式の手すりを二段式の手すりへ交換する。交差点の安全対策については、ガードレール設置による歩行者の安全性向上や、隅切り部の視距改良などについて調整している。

Q2

歩道橋を撤去する計画である「大島上町歩道橋」、及び「渡田六ツ角歩道橋」について、現在の取組状況などについて問う。

A

現在、交通管理者や地元町内会等と、歩道橋の撤去及び撤去後の安全対策について協議を進めている状況。

ポイント

歩道橋の撤去については、歩道橋を撤去した後の交差点部における歩行者等の安全対策と利便性が重要であるため、事前に地元町内会等への説明を行い、必ず地元の理解を得た上で事業を進めるよう求めました。

**プロフィール**

- 1972(昭和47)年生まれ、51歳
- 川崎区大島上町在住
- 妻、長男、長女、次女の5人家族
- 日本大学工学部土木工学科卒業
- 民間企業で15年間、土木・造園工事の現場監督(サラリーマン)
- 川崎市役所で12年間、建設・道路行政に従事(行政マン)

長谷川ともかず事務所

〒210-0834 川崎市川崎区大島1-23-4 サイトーハイツ102

TEL : 044-280-8824 FAX : 044-280-8834

MAIL : hasegawa-tom@an.wakwak.com

川崎臨港警察署の建て替えに関する支援について(臨海部国際戦略本部)

Q

老朽化などにより、建て替え等の計画が進められている川崎臨港警察署は、建て替えに係る用地の確保に苦慮しており、いまだ困難な状況にあると見受けられますが、市有地・民有地を含めた情報提供などの協力や支援について見解と対応を問う。

A

川崎臨港警察署の老朽化対策は重要なことと認識しており、必要に応じて神奈川県警察本部に対する情報提供等の協力を、引き続きしていく。

新本庁舎移転後の民間ビルの状況

(総務企画局、経済労働局)

Q

新本庁舎移転により、川崎駅周辺の7棟の民間ビルに約2,140名の行政職員の人数に相当する事務所スペースに空きが生じることになりますが、移転元の民間ビルに新たな企業やテナント等が入居することによる経済効果などについて問う。

A

新たな企業等の入居により、就業者や市税収入の増加に加え、賑わいの創出や消費拡大による商業の活性化などが期待できると考えている。

要望

これから京急川崎駅西口地区の再開発事業が進められ、川崎駅周辺は更に進化してきます。本市の新たな100年に向けて、より一層の発展を遂げるためには、「JR川崎駅南口改札」の設置が不可欠であると考えています。さいか屋跡地の「川崎ゼロゲート」の検証とともに、南口改札の必要性をしっかり検証した上で早期実現に、大きな期待を寄せて要望しました。

資格

- 2022年8月、川崎市役所を退職し政治家の道を志す
- 2023年4月、市議会議員選挙(川崎区)初当選
- 田島小学校 元PTA会長(9年間)
- 渡田中学校 元PTA会長(3年間)
- 市立川崎高校 元PTA会長(3年間)
- 川崎市高等学校区PTA協議会 元会長
- 渡田こども文化センター運営協議会 会長
- 川崎野球協会 副会長・大師支部 支部長
- 全川崎選抜野球大会実行委員会 委員長

趣味

- 1級土木施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 測量士、ほか
- ロックンロール
- ゴルフ
- ガーデニング



X (旧Twitter)



Facebook



LINE